

東浦町ごみの分別と減量をすすめる会会議録

会 議 名	令和5年度第2回東浦町ごみの分別と減量をすすめる会	
開 催 日 時	令和6年3月15日(金)午後1時30分から午後3時30分まで	
開 催 場 所	森岡コミュニティセンターホール	
出 席 者	推進員	阿知波 弘 (森岡連絡所長) 梅村 良文 (森岡地区住民代表) 二宮 邦子 (森岡台自治会長) 赤尾 英美 (森岡台住民代表) 内藤 明綱 (緒川連絡所長) 野村 安雄 (緒川地区住民代表) 広瀬 元光 (緒川新田連絡所長) 松久 直史 (東ヶ丘自治会長) 吉田 泰三 (東ヶ丘自治会住民代表) 飯田 光晴 (石浜連絡所長) 五十嵐 めぐみ (石浜地区住民代表) 石川 晃 (石浜中自治会長) 神谷 信三 (石浜中自治会住民代表) 山田 隆 (石浜西連絡所長) 原田 隆平 (石浜西地区住民代表) 原田 正治 (生路連絡所長) 濱岸 舞子 (生路地区住民代表) 中村 六雄 (藤江連絡所長) 江坂 晴 (藤江地区住民代表)
	町出席者	原田 英治 (生活経済部長) 新美 英二 (環境課長) 久野 貴士 (環境衛生係長) 北田 裕貴 (環境衛生係主事) 今井 加奈 (環境衛生係主事)
議 題	資源ごみの拠点回収について～森岡コミュニティセンターでの実証事業～	
傍 聴 者	0名	

会議内容

環境課長 開式のことば
傍聴者なしの報告
会議中の録音・写真撮影の了承

生活経済部長 参集御礼・あいさつ

環境課長 本会議の目的と概要説明。

座 長 議事進行

議題「資源ごみの拠点回収について～森岡コミュニティセンターでの実証事業～」事務局から説明した。

資料1 資源ごみの拠点回収について～森岡コミュニティセンターでの実証事業～

※森岡コミュニティセンターの拠点ステーションを見学した。

【主な質疑等】

推進員 拠点回収を始めて2か月程度であるため、様子を見る必要がある。半年ぐらい見ないと結論を付けるのは難しいのではないか。次回の会議でも報告させていただきたい。

推進員 拠点回収によるごみの減量化は良いことだと思う。各地区のステーション回収では燃えないごみを回収するが森岡の拠点回収ではやらないのか。

事務局 拠点回収では資源を回収していきたい。資源は循環するがもえないごみは捨てるだけになる。町は資源を沢山回収し循環させていきたい。多くの資源を回収しごみの減量に繋げていきたい。

推進員 前回のごみの分別と減量をすすめる会の時に資源の回収が多い地区を言われたが、今年は減った。資源の量が減っているが、拠点回収を行う場合、補助金の加算はあるのか。
また、地区の拠点回収では、限られた品目のみでもよいのか。

事務局 交付金の加算はある。地区の拠点回収では、限られた品目のみでもよい。製品プラスチックの回収場所が少ないため、あわせて回収してもらえると

ありがたい。

報告1「ペットボトルの水平リサイクルについて」事務局から説明した。

資料2 ペットボトルの水平リサイクルについて

【主な質疑等】

推進員 水平リサイクルする経緯は。

事務局 今までの契約は、何にリサイクルされるか分からなかった。シートや繊維はリサイクルされると焼却処分になるが、水平リサイクルではペットボトルになるため、ずっとペットボトルにリサイクルされ、循環し続けるため、水平リサイクルを行うこととなった。必ずペットボトルにリサイクルされるため、住民にも分かりやすい。

推進員 他社のペットボトルも回収できるのか。

事務局 他社の物も回収する。ペットボトルは元々、石油資源から作る。一から作ると多くの石油を使うことになるが、ペットボトルからペットボトルだとそこで循環し、新たな石油資源が必要にならない。この水平リサイクルの流れは、二酸化炭素の排出を抑えられる環境負荷が少ないリサイクルのやり方であるため、町としても取り組んでいきたいと思い協定を結んだ。

推進員 値段が変動する中で、回収するペットボトルの中に不純物が多くリサイクルに利用できないという様な課題もクリアできているのか。

事務局 協定の中に価格やりサイクル方法について書かれている。その中で約束がきまっているため、言われた課題はクリアできている。

推進員 2社を選んだ理由には売却金額も関係しているのか。

事務局 選んだ理由としては価格も関係するが、しっかりペットボトルにリサイクルしてもらえるかというところである。それ以外に出前講座の様な環境教育を行っていただけ等のメリットがあったため、この2社と結ぶこととした。

推進員 今後ペットボトルを排出する際に、住民が気を付けないといけないことが

あるのか。今まで通りの出し方でよいのか。

事務局 ペットボトルの出し方は、今までどおりと変わらない。そして必ずペットボトルに戻るという事を住民に伝えていきたい。

報告2「粗大ごみのリユースについて」事務局から説明した。

資料3 粗大ごみのリユースについて

【主な質疑等】

推進員 これからは見えそうな物については、フリマアプリで売却するとお金が入ってくるのか。

事務局 お金が一部町に入る。リユース可能と回答いただいた物についても、本当に使用できるかは回収業者に判断してもらう。

推進員 玄関先まで取りに来てもらう場合、マンションだと1階まで運ばないといけないのか。

事務局 粗大ごみ処理券を購入して収集する、戸別有料収集では1階まで運んでいただく必要があるが、東浦町の許可業者が何社もあり、そこに依頼したら部屋の中から運搬することができる。費用はおそらく2,000円以上かかってくるのではないと思われる。

推進員 フリマアプリで売れたお金は個人に入るわけではないのか。

事務局 売れたお金は、委託業者に入る。委託業者に入った一部が町に入ってくる形になるため、粗大ごみを排出した個人に入るわけではない。排出者は、今まで通り2,000円の処理券を購入してもらう。今までクリーンセンターで処分されていた物が、再利用されるのと売却金の歳入が入ってくる形となる。

報告3「フードドライブについて」事務局から説明した。

【主な質疑等】

推進員 賞味期限など持ち込む時の決まりはあるのか。

事務局 賞味期限から1ヶ月余裕のある食品を受け付けているため、賞味期限がギ

リギリの物や切れている物は受け付けできない。

推進員 取りに来てもらうことはできないのか。

事務局 役場には、持って来てもらう。

推進員 集めた食材はどういった団体に配布されるのか。

事務局 役場で集めた物については、社会福祉協議会に渡し、困窮世帯やこども食堂、福祉団体、高齢者の相談センター等に渡している。

推進員 アルコールは受け付けているか。

事務局 アルコールや冷蔵冷凍食品は受け付けていない。

【全体質問】

推進員 前回の会議の時にターポリンストッカーの話があり、カラスの被害が多い所に2つ貸し出しさせてもらっている。住民からは大好評でどんどん進めてもらいたいという声がある。今年もお願いしたい。

折りたたんだ状態だと邪魔にならず、簡単に設置できるためごみを出す住民が自ら設置している。住民同士でカラスに荒らされそうな物はストッカーの中に入れ、荒らされない物は外に置くといった工夫もしている。

推進員 ターポリンストッカーの配布はあるのか。

事務局 多少の在庫は持っているが、全箇所を設置する在庫はない。

推進員 有料化が始まり4、5年経つが進捗状況は。

事務局 同じ人口規模の自治体と比較しても、抑えられている状況である。クリーンセンターの建て替えなどもあり事業費としてはかかっているが、町として回収等でコストがかからない方法を検討している。拠点回収もその一つである。皆様の意見も頂戴しごみ処理に必要な施策を打ち出したい。

その他 「互換性インクカートリッジを含めた回収について」事務局から説明した。

【主な質疑等】

推進員 どこのメーカーでもよいのか。

事務局 どこのメーカーでも回収する。配送は相手方の着払いとなる。興味のある地区はご相談いただきたい。

閉会